



財団法人 熊本教育会館ニュース

発行所
熊本市中央区九品寺1丁目11-4
熊本教育会館事務局
TEL 096-372-3800
編集・発行 今村 良博
印刷所 ホープ印刷株式会社

教育会館を『地域指定一時避難場所』に提供する協定を締結

周辺自治会との『自然災害発生時の合同避難訓練』を実施(11月19日)

平成23年の「3・11東日本大震災」は、自然災害の規模や被害の内容がこれまでの想定では通用しないことが分かった。また今年の「7・12九州北部豪雨」により、熊本県においても「昭和28年の2・26水害」を超える水害が起こり得ることも分かりました。この九品寺界隈でも浸水・冠水が発生し、人的被害はなかったものの市民生活に影響が出ました。その後重なる台風発生により、災害を避けるために「事前避難」の意識が高まり、熊本市の仲介で「当教育会館を災害等の発生時の『地域指定一時避難場所』とすることになりました。(協定の締結は後に行います)」。教育会館及び同居団体は、年間を通して事業活動を行っていき、また、教育会館の施設・設備を災害に向けて充実させることは大変困難です。このような現状において「一時避難」が可能にし、住民の安全を確保するために、教育会館と地域・自治会の連携が不可欠です。従って今回の避難訓練は、災害発生時の地域住民の一時避難をどう行ったらよいかについて、第1回目の試行として実施しました。反省点を踏まえ、より良い連携組織づくりに向けて地域・自治会と協議を進めます。当日取材に見えた熊本市中央区役所の「公式フェイスブック」の記事を掲載します。

熊本市の中央区役所「公式フェイスブック」より
【熊本市中央区役所】

わくわく中央区

【地域で防災!】

白川校区第5・7町内自治会で、自然災害発生を想定した避難訓練が11月19日(月)に行われました。この地域は、今年7月の九州北部豪雨災害で近くを流れる大井手川、二の井手川が増水し、床上・床下浸水の被害を受けられた住民の方もいて、皆さんの関心も高く、全部で44名の方が参加されました。また、この地域は「熊本市が指定する一時避難場所」から少し離れており、高齢者も多いことから、急な浸水被害から一時的に避難する身近な施設として、地域内の「熊本教育会館」の協力を得て、職員の方も訓練に参加されました。このような施設は、地域からの要望で、一時的に住民の方が身を寄せる場を提供していただく「地域指定一時避難場所」と位置づけられ、町内自治会や自主防災クラブ等地域団体と協力し、地域の防災力が高まる効果が期待されます。

今回の避難訓練は、初めて地域と施設が合同開催したもので、施設への避難、避難所の開設、避難食の準備等を実際に体験し、万が一の事態に対応できるか確認されていました。次回は、梅雨前の5月に実施される予定とのことです。

(中央区役所まちづくり推進課)



来年4月1日から新法人としてスタート 「一般財団法人熊本教育会館」への移行が認可されました 熊本県公益認定等審議会から10月9日県知事へ答申

平成20年12月に施行された「新公益法人3法」では、①公益法人 ②一般法人 ③その他解散等への移行を求められています。移行期限は平成25年11月末日までです。教育会館では「新公益法人制度への移行検討委員会」で検討を重ね、今年5月理事会で「一般財団法人への移行」が決定されました。直ちに準備に入り、8月県知事への移行申請を行いました。そして10月5日の公益認定等審議会にて「一般財団法人への移行を妥当とする」という判断をいただき、10月9日県知事への「認可妥当の答申」がなされました。

移行申請に当たっては、申請手続きが煩雑で、県教委の教育政策課から丁寧な指導をいただきました。移行の条件として重要なことは、①公益事業(教育文化事業)を計画通り継続すること、②移行した新法人の経営(役員体制と組織運営)をきちんと行うことです。来年3月19日以降に「認可書」をいただき、4月1日に新法人の設立登記を行います。来年度からの「一般財団法人熊本教育会館」の設立に向けて万全の移行準備を行います。

平成24年度第3回理事会(11月22日) 「上半期事業及び決算」の承認と「移行方針」が確認されました

11月22日(木)に第3回理事会が開催され、平成24年度上半期の事業報告及び決算・監査報告が承認されました。また県への法人移行申請が認可されることになり、新体制に向けて準備を進めることが確認されました。理事会議案は裏面に掲載します。新法人に移行後も「教育文化事業」はこれまで通り継続することになります。今年の実施状況は下記の通りです。

こころゆったり 8月3日 ヒーリングセミナー

「たまには自分にこころゆたさを」
公立学校共済組合熊本県支部
「メンタルヘルス講師派遣事業」

【日時】平成24年8月3日(金) 10時 【会場】熊本教育会館 【講師】臨床心理士 高木ひろみ先生 【演題】「こころと身体のリラックス法」 *メンタルヘルスに関する基礎知識を身につける *自分のリラックス法を身につける 【参加人数】18人 【感想から】 ・心当たりのあることがたくさんあり、うなずきながら聞いていました。ストレッチに負けそうになったこともあるので、スパイスとらえて上手に付き合っていきたい。 ・具体的な対処法を覚えていただいたので、すぐに実践できそうです。ありがとうございました。 ・おいしい食事つき、ありがたいな。 ・私は、今回で4〜5回目くらいです。多くの先生方が参加されるといいのにとおもいます。など



11/20 育児休業者現場復帰支援 カムバックセミナー

【日時】11月20日(火) 13:30
【会場】火の国ハイッ
【参加者】54人(託児48人)
【講師】県教委・学校人課 松本参事
公立学校共済組合 塩宮参事

【内容】
セミナー1…育児等に関する諸制度
セミナー2…子育てに関する諸制度と
セミナー3…手続
ティータイム…お茶と質問や情報交換

【感想から】
・昨年も参加させていただきましたが、火の国ハイッは高速を使ってくる私にとってはとてもよいと思います。昨年までの水前寺は混雑する場所だったので、復帰が近づいてきて日々不安がつづいていました。学校へも勤務形態の相談などで近いうちに行かなくては…と思っています。そんな中でカムバックセミナーでしたので、大変ありがたかったです。「子どもの幸せ最優先」でしっかり考えていこうと思います。ありがとうございました。どちらともわかりやすく説明していただきありがとうございました。また会場が変更になったため、駐車場のストレスがなくなりとても良かったです。託児もあつても助かりました。など

【学校寄席】を4校で開催

1日目…11月26日(月) 千原台高校
2日目…11月27日(火) 阿村小学校
3日目…11月28日(水) 熊本盲学校
松橋支援学校

【内容】
①落語 柳家喬之助
②落語 柳家喬之助
③大神楽 鏡味仙三
④三味線 太田そのの
「教育会館寄席」の開催は今年で4年目、「学校寄席」は3年目となりました。左記は、4校の学校の代表者と出演者及び会館スタッフでの反省会での発言の一部ですが、「学校寄席」を実施する教育会館の目的がよく表れていると思います。

学校寄席は来年も実施します。希望される学校は、早めに実施計画を立て、申し込まれるようお願いいたします。「募集要項」は1月になったら「教育会館ホームページ」に掲載します。

【反省会での感想・意見】

・普段触れられない日本の伝統芸能を生で味わえて有意義な経験でした。
・とにかく楽しく時間を過ごせました。子どもばかりでなく職員も好感でした。
・本物に触れることができたのは幸せです。

【観客と演者の位置関係について】
・整然としていることが必ずしもいいことではない。写真撮影のように1列目の人の間に2列目の人がいた方が良く見える。

・演者は観客の座高より上で演じることで、手が見えるように。だから「高座」が必要。

・いろいろの「大神楽」は、高すぎると傘の上が見えない。高いステージではしゃがんで演じた。
・しかし、学校には学校の事情があるから、100%環境を整えることがベストではない。演劇等とは異なり、どこでも誰に対しても、その場に即して演じるのが私たちの芸能だ。観客と演者が一体の空気を作ること、人数は関係ない、都会も田舎もない、空気を共有することが大切。教育会館と一緒に作って作り上げようとする姿勢を持って、これからのいい公演ができていく。

熊本市立千原台高校
生徒 589名
教職員 45名
地域保護者 16名

熊本市立阿村小学校
生徒 144名
教職員 14名
地域保護者 15名

熊本市立松橋支援学校
生徒 90名
教職員 25名
地域保護者 5名

熊本市立立言学校
生徒 40名
教職員 40名
地域保護者 3名

熊本市立松橋支援学校
生徒 90名
教職員 25名
地域保護者 5名

報告 第3回理事会

11月22日(木)

I 会館の財政運営について

- (1) 会館の基本資金である会館建設基金(出資金)については、出資依頼を中止していません。そのため新たな出資者はありませんでした。
- (2) 出資金の返済は、退職による返済が388人、399万円でした。この結果出資金の残額は1億27万円となりました。現在退職者等で返済が滞っていない方に対しての返済の取り組みを行っています。また、コープ熊本中学校生活協同組合等の構成員で出資をいただいている方に対しては、返済の手続きを行っています。
- (3) 収入の大半をしめる地代家賃は、100%納入されています。
- (4) 会議室賃料は、169件280万円、前年同期より約18%の減となりました。出資者の利用は前年より約25%の減、一般の利用は15%の減となっています。
- (5) 会館共済事業の集金手数料は約1,500万円と前年並みで推移しています。また教育会館の特別給付金は、上半期の給付額は800万円を超えており増加しました。
- (6) 退職者福祉年金事業は、3月末で個人口の制度を終了しました。団体口の終了手続きを6月末に行い、福祉年金特別会計の会計残163万円を一般会計へ繰り入れました。
- (7) 会館経営の安定化のための各種引当は継続的に引当額を高めました。その中で、退職給与引当額は9月末の退職給与債務実績にしました。
- (8) 会計全般については、1989年度よりユース会計社(吉永公認会計士事務所)と契約して適正な処理と円滑な執行に努めています。法人移行の準備として区分経理を行い、「公益目的支出計画」を作成しました。
- (9) 移行認可申請において、県教育委員会

II 管理業務について

- (1) 夜間や休日の管理警備は、2名の職員が交替制で勤務し、会館を常時使用できるようにしています。会館閉鎖は12月29日から1月3日までの6日間を予定しています。
- (2) 安全管理及び設備備品の保守については、これまで通り保守契約を行い運営しています。
- (3) 火災の未然防止と万一の災害に備えるため、2回の防火対策委員会を開催して防火管理組織、自衛消防組織を編成するとともに、災害発生時の避難訓練を2回実施しました。1回目(5月)は5月24日に火災発生による避難訓練と駐車場火災時の「移動式粉末消火器の使用訓練」を行いました。7月12日に九州北部豪雨が発生し、熊本県においても阿蘇を中心に大きな被害をもたらしました。白川は昭和28年の「6.26水害」を超える流量となり、九品寺においても一部浸水、冠水等が発生しました。それ以降台風の接近が度重なり、近隣から教育会館を避難場所にできないかという声が多数寄せられ、熊本市の働きかけで災害等の発生時の地域指定一時避難場所に指定する方向で話し合いを行っています。指定に際しては「協定」を締結しますが、第2回目の避難訓練を「白川小学校区第5・7町内と教育会館の第1回合同避難訓練」として11月19日に開催しました。今後日常的な連携関係の構築が必要となります。また専門業者(ユージー防災設備)による消防設備の点検を9月21日に行いました。(年2回9月、3月実施)
- (4) 建物の保守工事としては、駐車場の電燈の補修・配線工事、1階廊下の掲示板の取替、5階会議室の遮光カーテンの取替、各階湯沸し室の電熱器の交換・メンテナンス、消火器の交換を行いました。また非常灯・非常放送機器・緩降機等の交換整備を予定しています。
- (5) 教育会館「ユース」を7月に発行し、会館の事業等の広報に努めました。また、ホームページを活用してタイムリーな情報の開示と発信に努めました。
- (6) 職員管理や収納システム等についてコンプライアンスと合理化の観点から見直しを進め、教職員に貢献できる体制づくりをコープ熊本と県教職員組合と3者で協議しています。小中学校関係者の請求書の一本化等を行う「教職員事務センター(仮称)」の設立を平成26年4月に行う方向で進めています。
- (7) 8月24日「新公益法人制度における一般財団法人」の認可申請を熊本県公益認定等審議会に行いました。2度の修正申請を経て10月5日の審議会にて「一般財団法人及び一般財団法人に関する法律」並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備に関する法律第177号に規定する認定の基準に適合すると認められるが、認定の可否は10月9日付けで県知事「答申書」が提出されました。移行は平成25年4月1日を予定しています。認可書は直前の3月19日以降に交付されることとなります。
- (8) 現理事及び監事並びに評議員は3月31日をもって辞任をし、4月1日に新理事及び監事並びに評議員が就任することとなります。事務局の登記が必要ですので、「辞任届」及び「就任承諾書」の提出をお願いします。
- (9) 「新公益法人制度移行検討委員会」を12月6日に最後の委員会として開催し、移行申請事務手続きの確認の後解散予定です。

III 福祉共済事業について

- (1) 会館共済第28次のキャンペーンでは、5月7日(月)から6月1日(金)の4週間、太陽生命(株)の全国の総合職スタッフ約20名に県下の小・中・県立学校全校を訪問し未加入者の紹介活動を展開してもらいました。他社との競合がますます激しくなっています。団体保険には強い終身保障分野です。今後とも苦戦が強いられることとなります。
- (2) I型「遺族生活給付金共済生命」は、本人新規契約で261件の増ですが、年度途中の脱退や更新中止で本人148件の減となり、配偶者・子どもも含めた全体契約で330件減の12,056件でした。「医療プラン」は、本人新規で63件の増、全体で91件減の5,747件でした。
- (3) 加入者の死亡に伴う遺族生活給付金については、平成23年度(平成23年9月1日)〜平成24年8月31日は、死亡・高度障害19件(前年度13件)で給付総額は2億600万円(前年度1億9,300万円)でした。また、医療プランの給付は191件(前年度190件)で給付総額は1,596万円(前年度1,459万円)でした。(資料①)
- (4) 会館共済II型貯蓄型生涯保障共済(新規加入者は15名、加入者総数は910名、前年度947名)でした。
- (5) 第22次より導入した「傷害プラン」の新規加入者は4名、加入者総数は135名、前年度134名でした。
- (6) 会館共済特別給付金の申請に対しては、給付の適正・迅速化を図るために、給付審査委員会を毎月2回開催し、毎月審査・給付の体制をとっています。
- (7) 共済事業の制度や運営のあり方等の検討を行うため制度検討委員会を3回開催しました。新公益法人制度への移行に伴い、特別給付制度をいわゆる「少額・短期給付」に移行させることが必要です。「休職見舞金制度」は、「1年以上5万円、更に2年以上10万円の給付」から「1年以上10万円の給付」に変更します。

IV 教育文化事業について

- (1) 教育会館設立25周年を記念して始めた図書券の寄贈を継続しました。これまでの20年間で県内の527校に寄贈しました。今年度も寄贈校28校全てを訪問して寄贈しました。これまでの寄贈総額は2,840万円です。平成24年度の寄贈校は資料②のとおりです。
- (2) 「会館共済第25次キャンペーン企画」として行った教育会館寄席は、学校の児童生徒に対して是非行ってほしいという声から、教育会館・学校寄席として開

催して3年目になりました。「会館ユース」や「ホームページ」にて公募し、今年度は4校で開催しました。県立・高等学校での開催は初めてでした。

〔開催校〕
 11月26日(月) 熊本市立千原台高校
 11月27日(火) 上天草市立阿村小学校
 11月28日(水) 熊本県立首智学校
 熊本県立松橋支援学校

(3) 熊本県かるた協会及び日本将棋連盟熊本県支部の協力を支援し、日本の伝統文化や芸能の振興を図るため、月1回の練習会や大会等に会場を無料で提供しています。

2月24日(日)には熊本県かるた協会主催の「第25回熊本県小中学校小倉百人一首かるた競技大会」の後援を予定しています。

(4) 会館新築移転10周年を記念して、平成18年8月より「教育会館アートのひろば」を開催しています。熊本県教育に関係深い方の作品を、教育会館玄関ホールに展示しています。(資料③)


(5) その他の教育文化事業としてメンタルヘルス「こころゆたり講座」を8月3日(金)に教育会館で開催し、臨床心理士高木ひろみ先生のご講演「こころと身体のリラックス法」と昼食でゆつくりした時間を過ごしてもらいました。参加者は18名でした。

育児休業者現場復帰支援「カムバックセミナー」を11月20日(火)に火の国ハイッで開催しました。県教育委員会学校人事課の松本参事のご講演「育児等に関する諸制度の活用について」と教育政策課福利厚生室の塩宮参事のご講演「現場復帰に伴う諸手続きについて」の後、ティータイムを楽しんでもらいました。参加者は54名で、託児は48名でした。

また、18歳までの子どもの電話相談活動を行っているNPO法人「チャイルドライン」も、サポートするのにも、教職員向けの電話相談室「レモンクラス」を毎週火曜日に開設しています。

『パパママひろば』のお知らせ

育休中のパパママさん！
 子育てについて
 おしゃべりしたり、
 お勉強したり、
 そんなちょっとしたティータイムを
 過ごしませんか？
 毎月第2水曜日に開催しています。
 参加の方法は
 教育会館ホームページをご覧ください。



資料①《特別給付金・給付状況 平成24年4月～9月》

内 容	給付件数	前年	
		件数	金額
1 入院見舞金	5日以上	159件	155件
	30日以上	21件	27件
	60日以上	24件	11件
2 医療プラン	1日～4日	126件	126件
3 休職見舞金	1年以上	5件	5件
	2年以上	2件	3件
4 出産祝金		65件	81件
5 退職祝金		116件	120件
6 満期祝品		0件	0件
	給付 総件数	518件	528件
	給付 総額	8,356,000円	8,165,000円

《太陽生命の保険金・給付状況 平成23年9月～24年8月》


種類	件数	前年
生命	19件(206,000,000円)	13件(193,000,000円)
医療	191件(15,967,000円)	190件(14,599,000円)

資料② 図書寄贈 《小・中(25校)県立(3校)》

地 区	学 校 名	
荒尾・玉名	府本小学校	荒尾清里小学校
	南関第三小学校	滑石小学校
鹿 本	岳間小学校	
菊 池	西合志東小学校	
阿 蘇	産山小学校	久木野中学校
熊 本	川口小学校	田底小学校
上 益 城	木倉小学校	乙女小学校
宇 城	三角中学校	
八 代	氷川中学校	
人吉・球磨	一勝地小学校	山江中学校
	湯前中学校	相良中学校
水俣・芦北	葛渡小学校	湯浦中学校
天 草	魚貴小学校	栖本小学校 久玉小学校
	河浦中学校	今津中学校
県立学校	熊本農業高校	南陵高校 鹿本農業高校

資料③ アートのひろば

10月期(松下佐代氏)



11月期(梅田正治氏)



12月期(安田賢一氏)



今後の開催予定

- ・1月期は、日本画教室展
- ・2月期は、大塚浩平氏(嘉島町)の日本画展
- ・3月期は、平岡尚子氏・清田至氏(天草市)の油彩画展
- ・4月期は、岡田繁忠氏(熊本市)の油彩画展
- ・5月期は、村田紀美子氏(熊本市)の水彩画展